

I 自己評価

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校番号

58

1 学校教育目標	1 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 2 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけるとともに、創造性あふれた明朗快活で心豊かな人間性を養う。
2 現状の分析	○本校の教育方針や指導目標に共感でき、本校を選んでよかったと感じている生徒や保護者が多い。 ▲学校全体のレベルが向上し、それぞれの教育活動において多くの実績をあげることができるようになった。その反面、岡本校舎・山田校舎両校舎間や各学科間で、活動時間や活動場所等について様々な調整が必要となっている。
3 学校の抱える課題	・学科間で連携した教育活動のさらなる推進を図る。 ・学校が発信する情報を全校生徒や保護者に効率よく伝え、情報の共有化を図る。
4 今年度の具体的な重点目標	◇言語活動の充実を図り、「考える・よく分かる・説明できる」授業づくりをめざす。 ◇両校舎の交流の機会を増やし、各学科の生徒が、他の学科の学習内容や学ぶ姿を知り高め合うことができる教育活動を推進する。

年 度 目 標			年 度 末 (途中) 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
(1)学習活動	①言語活動の充実を図り、各教科ごとに研究会を実施 ②学科間で連携した教育活動の推進 ③全校生徒が参加する学習成果発表会の実施	①保護者生徒による授業評価 ②ぎふ総合型選択制の科目選択状況 ③学習成果発表会に対する、生徒の満足度	①生徒保護者を対象とするアンケート結果より、授業に対する肯定的評価 保護者93%、生徒87% ②ぎふ総合型選択制で他学科の設定科目を選択する生徒7.0人(のべ人数) ③各科の学習内容が良く理解できた感想多数	B B A	○「学習成果発表会」は、他学科の学習内容を知るだけでなく、先輩の学ぶ姿を先輩に伝えられた。 ▲学校のスケールメリットを生かしながら、指導の統一性に留意し、学校として一体感を高める。	A B C D
(2)特別活動	①部活動の活性化 ②生徒会活動の活性化 ③生徒が主体的に活動する場の提供	①部活動の活動実績 ②生徒会活動の活動状況 ③MSリーダーズ活動参加状況と生徒の感想	①女子ハンドボール部やスキー部をはじめとする各部活動の成果 ②生徒会主導による挨拶運動の実施 ③MSリーダーズ登録人数259人「雪またじ運動」等への地域の評価	A B A	○各部活動の実績の他、部活動にはないレスリングで世界大会優勝者もでた。 ▲諸活動への生徒の主体的な態度を育成する。	
(3)進路指導	①個々の生徒に応じた進路の実現 ②適切な進路情報の提供	①生徒の進路状況 ②進路情報の提供の工夫	①就職内定率 96% (3月1日現在) ②「外部リソース活用事業」の指定を受け、生徒・教員ともに研修の充実が図れた。	A B	○生徒・教員ともに進路(キャリア教育)に対する意識が高まった。 ▲生徒の進路実現のため進路支援体制を強化する。	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年1月24日

12 来年度に向けての改善方策案

・学習成果発表会での生徒の立派な発表と堂々とした姿勢に感動した。将来の飛騨を支えていく子ども達の成長を頼もしく感じた。
・県下最大規模のスケールメリットを生かしながら、指導の統一を図り、生徒がより一体感を持てる体制づくりをお願いしたい。
・マニュアルどおりで、自分の頭で考え自分の言葉で話せない生徒もいる。さまざまな意味で社会性を育ててほしい。

・言語活動の充実に一層努め、あらゆる教育活動の場面で生徒が主体的に活動できるよう工夫を重ねていく。
・学習成果発表会のような、両校舎の生徒が交流し学び合う場の提供について、改善を重ね、学科を超えた生徒同士の情報の共有化をさらに推進していく。
・地域社会との連携・交流を密にし、地元飛騨に貢献する意欲を培う中で、生徒のキャリア発達とコミュニケーション能力向上を図る。